

# 未利用白土の特性評価と釉原料としての利用

## 支援の背景

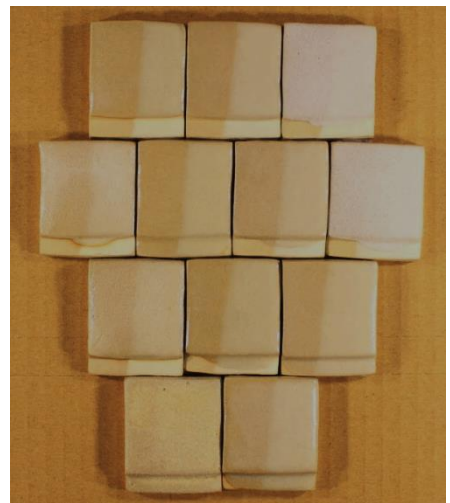
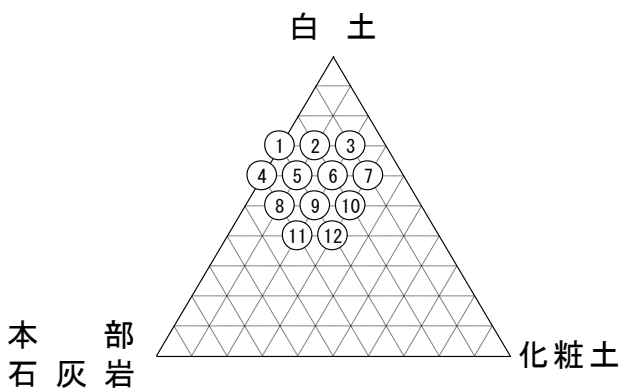
陶磁器分野で起業を考えているA氏から、自身が採取した県産白土がどんな特性をもつか、また、陶磁器原料としてどんな使い方ができるか、との相談がありました。そこで、原料の特性を調べ、その結果からその利用方法について検討しました。

## 支援内容

まずは、原料の化学組成、鉱物組成について調べました。また、その結果を基に、釉原料としての可能性を検討するために釉調合試験を行いました。

## 支援の成果

試験の結果から、白土は鉄分が少なく、カリウム分を含む長石質の原料で有ることが判りました。また、化学組成をもとに図に示すような白土—本部石灰岩—化粧土(壺屋製土工場製)による配合試験を行い、1, 230℃で酸化焼成しました。その結果、透明釉(例えば、②の配合)が得られ、白土が釉原料として利用可能であることが判りました。



三角座標による釉調合試験の結果